2026 山階鳥研見にレクチャー

11 月 7 日（土）　時間割

10:30 ～	①保全事業完了！奄美大島のアマミヤマシギとオオトラツグミ	水田拓
11:30 ～	② 2024 年標識調査　おいしいとこだけつまみぐい	千田万里子
12:30 ～	③鳥類標本について学ぼう（小学生～大学院生対象）	岩見恭子
13:30 ～	④アオジ幼鳥の秋の死亡率	仲村昇
14:30 ～	⑤鳥類の羽毛の構造や発色と構造色	森本元

講演内容

各回 30 分程度

① 保全事業完了！奄美大島のアマミヤマシギとオオトラツグミ	ニワトリのひな（ひよこ）は卵からかえるとすぐ自分で歩いて食べ物を探しますが、そうではなく親から一定期間食べ物をもらう鳥もいます。オオトラツグミという鳥のひなは親からミミズをもらいますが、では巣立つまでにいったい何匹くらいのミミズをもらっているのでしょう。ひなの成長に必要な食べ物の量を調べてみました。	一般向け
② 2024 年標識調査　おいしいとこだけつまみぐい	ペアで協力したり、他の鳥も協力したり、オスが数羽のメスを独占したり、逆にメスがオスを独占したり、子育てを他の鳥に託したり、状況に応じて変えてみたり…。また近年の DNA 解析により育ての親と本当の（遺伝的な）親が必ずしも同じではないことも分かってきました。鳥たちの多様な繁殖戦略を紹介します。	一般向け
③ 鳥類標本について学ぼう	「2024 年の間違いじゃない？」いえいえ、鳥類標識調査では、毎年大量の足環装着記録・再発見報告を扱っているので、1 年越しのデータ整理を経てようやくお見せできるようになるのです。3 月に公開された 2023 年の成果から､面白い部分をぎゅっと集めて皆さんにご紹介します。	小学生以上から大学院生で標本製作に興味がある方
④ アオジ幼鳥の秋の死亡率	本州中部以北で秋に標識調査を行うと、多くのアオジが捕獲される。捕獲個体に含まれる幼鳥の割合は北海道では 90%を超えるが、本州では 60-70%程度のことが多い。これは、幼鳥の死亡率が高いため、時間経過とともに幼鳥の割合が下がると考えれば説明できる。成鳥を基準に、幼鳥の死亡率がどれほど高いのか検討する。	一般向け
⑤ 鳥類の羽毛の構造や発色と構造色	鳥類は外見の色彩が多様な動物として知られていると同時に、最大の特徴の一つは全身が羽毛で覆われている点にあります。つまり、鳥の色とは羽毛の色に他なりません。そして羽毛は独特の構造をしています。また、鳥の発色メカニズムには複数の仕組みが知られており、その一つが構造色です。本発表ではこれらについて紹介します。	一般向け